

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-269444

(P2004-269444A)

(43) 公開日 平成16年9月30日(2004.9.30)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	F 1	テーマコード (参考)
A 6 1 K 35/78	A 6 1 K 35/78	T 4 B 0 1 8
A 2 3 L 1/30	A 2 3 L 1/30	B 4 C 0 8 8
A 6 1 K 31/01	A 6 1 K 31/01	4 C 2 0 6
A 6 1 K 31/015	A 6 1 K 31/015	
A 6 1 P 31/04	A 6 1 P 31/04	

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 11 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号	特願2003-63935 (P2003-63935)	(71) 出願人	392015273 讃岐塩業株式会社 香川県坂出市大屋富町1793番地の3
(22) 出願日	平成15年3月10日 (2003. 3. 10)	(71) 出願人	599073917 財団法人かがわ産業支援財団 香川県高松市林町2217番地15
		(71) 出願人	501203344 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構 茨城県つくば市観音台3-1-1
		(74) 代理人	100102314 弁理士 須藤 阿佐子
		(72) 発明者	山時 英次 香川県坂出市大屋富町1793番地の3 讃岐塩業株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ヤーコン中の有用成分の抽出とその応用

(57) 【要約】

【課題】 ヤーコン抽出有用成分の提供。該有用成分の生理活性を活用した機能性食品、医薬品等の創生。

【解決手段】 ヤーコンから超臨界二酸化炭素で抽出し分離した、成分A (α-キュービピン等)、および/または、成分B (2, 6-ビスフェニルメチレンシクロヘキサノン等)、および/または、成分C (トリテトラコンタン等) を有用成分として含有する抽出物。乾燥したヤーコン葉を粉砕した後、超臨界二酸化炭素を用いることを特徴とするヤーコンから有用成分、好ましくは成分A、および/または、成分B、および/または、成分Cを抽出する方法であって、乾燥粉末ヤーコンを40℃から60℃の条件で超臨界二酸化炭素で成分Aおよび成分Bを多く含有する抽出物を抽出し分離し、次いで温度を80℃以上において超臨界二酸化炭素で成分Bおよび成分Cを多く含有する抽出物を抽出し分離することを特徴とする上記の方法。ヤーコンから超臨界二酸化炭素で抽出した有用成分を有効成分とする抗菌剤または制ガン剤。

【選択図】 図1

